



社会福祉法人^{恩賜財団}済生会

福岡県済生会福岡総合病院

看護師特定行為研修

第4期生 募集要項

(令和5年4月開講)

令和4年11月

研修概要

I. 当院における特定行為研修の教育理念

当院は、「地域社会の皆様や先生方に信頼され、真の満足をしていただける病院作り」という理念のもと、三次救急施設として救命救急センターの運営、地域医療支援病院としての医療連携強化、地域がん診療連携拠点病院としてがん診療体制の整備などに努めています。

特定行為研修は、チーム医療のキーパーソンである看護師が、患者及び国民、そして医師やその他の医療関係者から期待される役割を十分に担うために、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、高度な臨床実践能力を発揮できることを目的としています。看護の視点を大事にし、各職種のタスクシェアリング、チーム医療の要となるとともに、より安全で患者・家族の視点に立った医療を提供できる看護師を育成します。

II. 教育目標

- 1) 高度医療や地域医療の場において、特定行為に必要な臨床判断を包括的にできる知識・技術・態度を養う。
- 2) 特定行為を適切なタイミングで倫理的かつ安全に行える知識・技術・態度を養う。
- 3) 多職種の専門性を尊重し、チームが円滑に働くよう支援できる知識・技術・態度を養う。
- 4) 医学的視点だけでなく看護学的視点を融合した全人的な看護が展開できる。

III. 研修の特色

救急医療の充実・地域医療連携の強化という役割機能から、救急・集中領域に関連した内容を中心に、地域医療にも貢献できる区分を選択しています。

令和2年度、「呼吸器（気道確保に係るもの）関連」・「呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連」・「呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連」・「循環動態に係る薬剤投与関連」・「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」の5区分13行為で開講しました。さらに、よりタイムリーな医療・看護の提供、医師のタスクシェア、高齢者の合併症リスク低減等の観点から、令和4年度には「腹腔ドレーン管理関連」・「創傷管理関連」・「精神及び神経症状に係る薬剤投与関連」・「動脈血液ガス分析関連」の4区分を新たに追加しました。

本年度は、「術中麻酔管理領域」・「救急領域」・「集中治療領域」の3パッケージ導入することで、さらに研修生が地域で活躍しやすい環境を整えるとともに、その中に含まれる「術後疼痛管理関連」・「循環器関連（一時的ペースメーカーの操作及び管理）」・「栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連」の区分を追加しました。

IV. 研修期間

令和5年4月10日～令和6年3月15日

令和5年4月10日：開講式

4月11日～12月8日：e-learningでの自己学習

および2～4日/月の集合研修

※4～9月上旬共通科目、9月下旬～12月上旬特定行為区分

12月13日～令和6年2月13日：臨地実習（基本的に自施設での実習となります）

3月15日：閉講式（予定）

V. 研修内容

1) 共通科目（講義：e-learning、演習・実習・筆記試験：集合研修）

科目名	研修方法：時間	時間数
臨床病態生理学	講義：27、演習：2、筆記試験：1	30
臨床推論	講義：35、演習：10、実習：1、筆記試験：1	47
フィジカルアセスメント	講義：39、演習：4、実習：6、筆記試験：1	50
臨床薬理学	講義：35、演習：9、筆記試験：1	45
疾病・臨床病態概論	講義：34、演習：4、筆記試験：2	40
医療安全学／特定行為実践	講義：22、演習：13、実習：13、筆記試験：1	49
計	講義：192、演習：42、実習：20、筆記試験：7	261

2) 特定行為区分別科目（講義：e-learning、演習・実習・筆記試験・OSCE：集合研修）

	科目名	特定行為名	研修方法：時間	時間数
1	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	講義：9 実習：2 筆記試験：1 OSCE：1	13
2	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整 人工呼吸器からの離脱	講義：21 演習：8 実習：1 筆記試験：2	32

3	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	気管カニューレの交換	講義： 8 実習： 2 筆記試験： 1 OSCE： 1	12
4	腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)	講義： 8 実習： 2 筆記試験： 1	11
5	創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 創傷に対する陰圧閉鎖療法	講義： 34 実習： 3 筆記試験： 1 OSCE： 1	39
6	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 脱水症状に対する輸液による補正	講義： 14 演習： 2 筆記試験： 1	17
7	循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量 持続点滴中の Na、K、Cl の投与量の調整 持続点滴中の降圧剤の投与量の調整 持続点滴中の糖液輸液又は電解質輸液の投与量の調整	講義： 20 演習： 4 筆記試験： 2	26
8	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時的投与 抗精神病薬の臨時的投与 抗不安薬の臨時的投与	講義： 32 演習： 4 筆記試験： 1	33
9	動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	講義： 13 実習： 2 筆記試験： 1	16
10	術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与量調整	講義： 7 演習： 1 筆記試験： 1	9
11	栄養に係るカテーテル管理関連	中心静脈カテーテルの抜去	講義： 7 演習： 1 筆記試験： 1	9
12	循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理 (パッケージ内 1 行為のみ)	講義： 7 演習： 1 筆記試験： 1	9

VI. 開講する特定行為区分と定員

1) 基本モデル (*共通科目の受講は必須)

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	2名
	脱水症状に対する輸液による補正	

2) 術中麻酔管理領域パッケージ 以下8行為 (*共通科目の受講は必須)

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	3名
② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸器からの離脱	
③ 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
	橈骨動脈ラインの確保	
④ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
⑤ 術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与量調整	
⑥ 循環動態に係る薬剤投与関連	糖質輸液又は電解質輸液の投与量調整	

3) 救急領域パッケージ 以下9行為 (*共通科目の受講は必須)

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	3名
② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
③ 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血	
	橈骨動脈ラインの確保	
④ 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	脱水症状に対する輸液による補正	
⑤ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	

4) 集中治療領域パッケージ 以下 10 行為 (*共通科目の受講は必須)

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	2名
② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	人工呼吸器からの離脱	
③ 循環器関連	一時的ペースメーカーの操作及び管理	
④ 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連	中心静脈カテーテルの抜去	
⑤ 動脈血液ガス分析関連	橈骨動脈ラインの確保	
⑥ 循環動態に係る薬剤投与関連	持続点滴中のカテコラミンの投与量	
	持続点滴中の Na、K、Cl の投与量の調整	
	持続点滴中の降圧剤の投与量の調整	

5) 追加オプション

「基本モデルに追加する方」・「すでに共通科目履修を修了しており、区分別科目のみを追加受講する方」は下記8区分より選択受講が可能です。なお、領域別パッケージ受講者は、同年の追加区分取得は基本的には不可とします(要相談)。下記に記載している募集定員は、基本モデル及びパッケージ受講者を含めており、定員はモデル・パッケージ受講者を優先させていただきます。

特定行為区分	特定行為	募集定員
① 呼吸器(気道確保に係るもの)関連	経口用気管チューブ又は経鼻用気管チューブの位置の調整	8名
② 呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更	8名
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静剤の投与量の調整	
③ 呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	人工呼吸器からの離脱	4名
	気管カニューレ交換	
④ 腹腔ドレーン管理関連	腹腔ドレーンの抜去(腹腔内に留置された穿刺針の抜針を含む。)	8名
⑤ 創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	4名
	創傷に対する陰圧閉鎖療法	

⑥ 動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血 橈骨動脈ラインの確保	8名
⑦ 術後疼痛管理関連	硬膜外カテーテルによる鎮痛剤の投与量調整	3名
⑧ 栄養に係るカテーテル管理関連	中心静脈カテーテルの抜去	8名
⑨ 精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	抗けいれん剤の臨時の投与	4名
	抗精神病薬の臨時の投与	
	抗不安薬の臨時の投与	

VII. 注意事項

- 1) 集合研修の講義、演習、実習は、基本的に9:00~16:40を予定しています。
- 2) 臨地実習は研修修了後に臨床での活用をスムーズにするため、自施設実習をお願いしています。各5症例必要となりますので、症例数の確保及び指導協力して頂ける医師の調整をお願い致します。
- 3) 自施設実習を行うためには、「臨床研修指導医である医師」または「7年以上の臨床経験を有し、かつ医学教育・医師臨床研修における指導経験を有する医師」の協力が必要です。
- 4) 自施設での実習が困難と予測される場合は、あらかじめご相談下さい。

募集要項

I. 受講資格

次に定める要件をすべて満たしていることが必要です。

- 1) 日本国内における看護師免許を有すること
- 2) 受講申請時点で認定看護師資格を有するもしくは看護師資格取得後、実務経験を5年以上有すること
- 3) 原則、所属施設において特定行為の実践について協力が得られ、所属長の推薦があること
- 4) 心身共に健康で研修終了後も特定行為実践を通して、医療の発展と地域医療に貢献する意欲があること

II. 出願手続き

1) 受講申請書類一式

- ① 特定行為研修受講申請書 (様式1)
- ② 推薦書 (様式2)
- ③ 履歴書 (様式3)
- ④ 看護師免許証の写し (A4サイズ)
- ⑤ 認定看護師認定証の写し (資格を有している方のみ)
- ⑥ (特定行為区分別科目のみの受講を希望している方) 履修科目免除申請書 (様式4)
- ⑦ (特定行為区分別科目のみの受講を希望している方) 特定行為研修修了証の写し
※現在受講中で当院での研修開始までに修了予定の方は修了見込み証

※提出された書類は返却いたしません。

※様式1～4はホームページからダウンロードできます。

2) 提出方法

受講申請書類一式を下記までご提出ください。(院内応募者は当部署へ持参)

〒810-0001

福岡市中央区天神 1-3-46 済生会福岡総合病院 総務課 宛

※朱書きで「特定行為研修受講申請書類 在中」とお書きください。

3) 提出期間

令和4年12月19日(月)～令和5年1月20日(金) 17時

※郵送の場合は当日消印有効

Ⅲ. 審査料納付方法

1) 審査料 5,500 円

2) 納付期間 令和4年12月19日(月)～令和5年1月19日(木)

3) 振込先

金融機関名：福岡銀行	支店名：県庁内支店
預金種目：普通	口座番号：601850
口座名義： <small>ふくおかけんせいせいかいふくおかそうごうびょういん</small> 福岡県済生会福岡総合病院	

4) 注意事項

- ① 振込依頼名はカタカナで、氏名の前に”トクテイ” とご入力ください。
(例)トクテイ サイセイタロウ
- ② 振込手数料は受験者負担となります。
- ③ 既納の審査料は返還いたしません。
- ④ 銀行で発行される利用明細書をもって領収書といたします。

Ⅳ. 選考方法およびスケジュール

1) 一次審査…書類審査

一次審査の結果は、2月上旬ごろ郵送にて通知いたします。

2) 二次審査…審査日：令和5年2月24日(金) AM 予定 小論文および面接
合否結果は、2月下旬ごろ郵送にて通知いたします。

Ⅴ. 受講手続きについて

受講決定者には、合否結果発送時に受講手続きについての詳細をご案内いたします。
なお、受講にあたっては、日本看護協会看護師賠償責任保険に加入していただきます。

Ⅵ. 受講料について

<基本モデル> 323,000 円

<術中麻酔管理パッケージ> 488,625 円

<救急領域パッケージ> 516,750 円

<集中領域パッケージ> 501,750 円

<特定行為区分のみの受講> 1区分あたり 1～2 行為：33,000 円 3～5 行為：55,000 円
(※OSCE があるものは+5,500 円)

※モデルを受講の方は別途、共通科目テキスト代が発生します。(12,000円程度)

◆厚生労働省教育に関する助成金について

基本モデルおよび在宅ケアモデルは以下の助成金の対象となっています。手続きなど詳細については厚生労働省ホームページをご参照ください。

教育訓練給付制度（一般教育訓練）

研修が修了した場合、研修生本人が支払った教育訓練経費の20%相当額（上限10万円）が給付される制度

試験会場案内

○所在地

福岡県済生会福岡総合病院（〒810-0001 福岡市中央区天神 1-3-46）

○公共交通機関でのアクセス

西鉄大牟田線「福岡(天神)」駅下車 徒歩約5分

地下鉄空港線「天神」駅下車 徒歩約5分

地下鉄七隈線「天神南」駅下車 徒歩約1分



問い合わせ先

済生会福岡総合病院 特定行為看護師 三山
総務課 橋本

電話 092-771-8151 / mail tokutei@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp